

# 岩手県職労

月2回刊=1535号  
2019年6月30日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所  
盛岡市内丸10番1号  
岩手県庁内  
岩手県職員労働組合  
印刷所  
盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジョー印刷企画  
一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む

## 夏の政治決戦で推薦候補者全員の勝利を

6月18日、来たる参議院議員選挙比例区で自治労組織内候補として立候補予定の「吉田ただとも」さんが来県し、盛岡市議選・県職労組織内候補予定者「野中やすし」必勝に向け、激励に駆け付けた。「吉田ただとも」さんは大分県職労出身。県職員の経歴を活かし、国政で活躍してきた。国政復帰に向けて決意を表明し、支持拡大を訴えた。

## 参院選に勝利し、政治を変えよう 「吉田ただとも」「野中やすし」勝利に全力を — 憲法理念を活かした社会実現へ —

6月18日、「吉田ただとも」さんは、県職労を訪問し、「安倍暴走政治に終止符を打ち、憲法を活かした社会の実現をめざすため勝利に向けて全力を挙げる。盟友である盛岡市議選での『野中やすし』必勝に向けて共に最後まで闘い抜こう」と激励をした。その後、盛岡市内をはじめ県内を遊説。夕方には時局講演会（県教育会館で開催）で野党統一候補・岩手選挙区「横沢たかのり」とともに、安倍暴走政治からの転換を柱とした社民党の政策を訴えた。



▲県職労本部を訪れた吉田ただともさん（右）と互いの勝利を誓う野中やすしさん（6月18日）



▲6.18 参院選勝利総決起集会で横沢さんと吉田ただともさん

参議院比例代表選挙は「候補者名で投票を!!」  
参議院の比例代表選挙は、政党と候補者を合わせた投票数で政党の当選人数が決まり、個人名の得票の多い順から当選が決まります。

行するとともに、米国の言いなりで高価な武器購入を進めており、戦争する国に突き進んでいる。③安倍政権は政権維持に手段を選ばず、官邸主導の忖度政治を繰り返している、とし、国民はしっかりと審判を下す時期に来ていると訴えた。そのうえで、今回の参院選では改憲勢力を3分の2割れに追い込み、改憲を阻止する重要な闘いであると、改憲ではなく憲法理念を暮らしに活かした社会の実現こそ必要であるとし、支持拡大を訴えた。

## 憲法を暮らしに活かす政策を 『吉田ただとも』の政策はこれ！

- ① 憲法9条を守る。憲法に自衛隊を明記する。緊急事態条項を創設する改憲を阻止し、自衛隊を社会貢献活動や災害救助、更に専守防衛に限定し、9条維持に歯止めをかける政策の転換を進める。
- ② 不公平税制の是正と福祉・医療の充実。安倍政権は、10月から消費税を進める考えだが、年収500万円の方で年間21万3千円の支出が増える。1月当たりでは1万8千円。これは所得の低い方こそ負担が大きい。消費増税も税収効果の観点から疑問との意見もある。法人税・所得税の減税の穴埋めとされてきた。個人消費が落ち込めば、他の税収も伸び悩む。所得が多い富裕層への課税を強化すべき。株式分離課税や不公平税制の是正を求める。年金、医療、介護も個人負担が増え、改憲が続いている。子育て支援や高等教育の無償化も進むが十分であり、拡充を訴える。
- ③ 生活と権利を守る取組の前進。長時間労働、過労死などの課題が注目されている。実効力ある対策となっていない。長時間労働の是正、企業への支援策、最低賃金1,500円（当面は一律1,000円）の実現を掲げている。
- ④ 地方の再建。種子法の改悪、林業・水産業における民間事業者の参入促進などの緩和が進められたほか、水道も民営化を促進する水道法の改悪も進められた。自民党政権下での各種規制緩和は国民生活を脅かし、地方を疲弊させる改悪である。しっかりと見直しを進めていく。
- ⑤ 脱原発社会の実現。電力供給システムの見直し、再生可能エネルギーの活用推進などの原発ゼロ基本法を成立させ、脱原発の仕組みを作っていく。

前参議院議員・第25回参議院議員選挙予定候補

# 吉田ただとも

□の中に、あてはまるひらがなを書いてください!

□の中の□あわせのために□い奮闘!  
□しかな実行力で□れもが輝ける社会を  
あなたと□□につくります!

吉田ただとも応援サイト「忠實の友」  
https://tadatomoan.blog/

岩手県職員労働組合は、第25回参議院議員選挙の全国比例区に「吉田ただとも」さんの推せんを決定しました。

発作や事故で心臓が止まった人に対して使用する自動体外式除細動器（AED）。今や、空港、バスといった公共交通機関をはじめ、庁舎学校などの公共施設、デパート・コンビニ、娯楽施設に至るまで、その設置場所や数の多さを見てみれば、日々の生活に欠かせない存在である。▼日本では、救急車が現場に到着するまで平均で約8分を要するといわれており、救急車の到着前にAEDを使用した場合には、救急隊員や医師が駆け付けてからAEDを使用するよりも、救命率が数倍も高いことが明らかになっていく。▼しかし男性よりも女性に対して使う割合が30%も低い。いざ使う場面となれば、服を脱がせパッドを貼り…。素早く救命措置を取りたいとことだが、服を脱がすことに戸惑いがある。女性に対する使用率が低くなっている。しかしこれは周りがフォローさえすれば問題ないこと。さらに心臓マッサージと組み合わせれば、助かる可能性は格段にアップされる。▼こうした場面にいつ遭遇するかわからない。職場でも精神疾患で病休、退職者が後を絶たない。手遅れになる前に是非周囲でフォローを。

# 安心して働き続けられる職員・施設の改善を

## 職訓協・定住推進・雇用労働室労働課長交渉

6月13日、県職労職業訓練職員協議会は、独自要求書を取りまとめ、商工労働観光部定住推進・雇用労働室の金野労働課長に提出し、基本姿勢を質すべく、交渉

を行った。

### 【指導員確保】

金野課長は欠員で職員に負担となつていふことを釈明したうえで、大学・研究室への働きかけなどを通して若手指導員の確保に努めるとした。併せて、定数に

金面での処遇改善と併せた対策が必要とし、対応を求めた。

### 【指導員経験者の校長・校長補佐の登用】

現在の指導員経験者は校長1人である現状にこれら関係機関との調整をする要素を考慮して人事を行つて

### 【施設改善】

多額の費用を要するため、施設整備・更新は計画的に行わざるを得ないとしつつ、計画的な整備に努めるとし

が、モチベーションの維持が課題であるとし、勤務意欲確保の取り組みを進める必要があるとした。

### 【自動車システムの体制充実】

訓練水準の改善のため、昨年度も定数増を要求したが実現できなかったと釈明したうえで、体制強化が必



▲主管課交渉に臨む職訓協執行部

要であり、要求を続けるとの姿勢を確認した。



▲金野労働課長に要求書を手渡す渡邊職訓協議長(左)

業能力開発計画に向けた検討もスタートするとし、職員や生徒が安心してできる職業訓練施設の将来像について

## 団結で要求実現と自治研活動の強化を

### 職訓協第43回定期総会開催

6月22日、職業訓練職員協議会第43回定期総会が盛岡市・清温荘で開催され、2018年度の運動総括と

ともに、2019運動方針と役員体制を確立した。

開会に当たり、渡邊議長は、「指導員の欠員をはじめ、主管室並びに技術専門

校の指導員体制の拡充が課題となつていふ。6月13日

の労働課長交渉ではそれらの解消を要求して前向きな

回答を得ているが、引き続き取組が重要となる。一方

で近年の少子化や大学無償化等により、各校の応募者

数減少が顕著となつていふ。岩手の人材育成、産業界の

担い手確保に対し、誇りと自信をもった指導と体制を

構築していく必要がある。

自治体に求職が集中するかもしれない」と不安な意見

も率直に出されました。

現在、県内の市町村のほとんどが、県における制度

がどうなるか注視している状況にあります。

県職労では、スムーズな制度導入をめざして、より

良い労働条件となるよう当局との交渉を積み重ねてい

ます。ぜひ、職場から疑問や意見を県職労にお寄せく

ださい。

示すよう要請した。

職訓協では秋までに細部の交渉を継続し、職場環境

改善等を求めていく。

新役員体制は次のとおり。

松尾 才治(産技短大)

副議長

有原 一文(産技短大)

副議長

福士 誠(産技短大)

事務局長

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

執行部から今後の職業能力開発行政を見据えた自治研活動や組織活動の強化を中心とした運動方針等が提起された。代議員からは若手の指導員確保の必要性や現場の現状と抱える課題に

釜石支部 新体制を確立  
新支部長に今野さん  
県職労釜石支部は6月14日新体制を確立した。  
新支部長には今野善文さん(経営企画部分会)が選出され支部活動をスタートした。  
役員・氏名は次の通り。



今野支部長

釜石支部

支部長

今野 善文(経営企画部)

副支部長

大野 宣和(水産技術センター)

書記長

浅沼 孝往(経営企画部)

書記次長

安保 寛隆(保健福祉環境部)

執行委員

渡邊 隼人(水産部)

宇都宮政彦(土木部)

藤嶋 敦(水産技術センター)

多田 典穂(農林部)

伊藤 純(土木部)

会計監事

武田 司(水産部)

白井 明誠(漁業取締事務所)



▲花巻支部の意見交換会のようす

## ⑥

盛岡市議選組織内予定候補者

野中やすし

## スムーズな制度導入へ当局と交渉

### 疑問や意見 県職労にお寄せください

前回は引き続き「会計年度任用職員制度」についてです。

現在、県職労では、総務事務センターの非常勤職員や各職場で任用事務の担当者らを対象にした意見交換会を開催しています。意見交換会の参加者からは様々

な意見が出されています。例えば「これまでと同じ職場で引き続き会計年度任用職員として採用された場合、「年休」は繰り越せるのか?」との疑問が出されました。

また、「盛岡市などの他の自治体と労働条件に格差がある」と、より良い条件の



野中やすしさん

と、「同一の職場で引き続き会計年度任用職員として採用される場合には、年休の繰り越しを行うことが適当である」と示されています。

また、「盛岡市などの他の自治体と労働条件に格差がある」と、より良い条件の

業能力開発計画に向けた検討もスタートするとし、職員や生徒が安心してできる職業訓練施設の将来像について



▲職訓協第43回定期総会のようす

## 職場への情報提供はいつ?

### 早期の提供求め当局交渉で詰めへ

県職労は、会計年度任用職員制度の意見交換会を各支部で開催している。6月20日には釜石支部、6月24日には盛岡支部・花巻支部で開催した。

意見交換会では、「会計年度任用職員募集の案内はいつ頃職員に知らされるのか」「会計年度任用職員制度に移って、育休代替職員の採用は年度途中の採用となるのか」「ボーナスの支給要件は」等々の発言が出

された。

また、「臨時職員を募集

しているが、3月末までの募集のため応募が無く困っている」「会計年度任用職員の人員要求はいつになるのか?これ以上減らされると困る」との要望も出された。

県職労は、出された声を

求めていく。

当局に伝え、働きやすい環境の制度と早期の職場への情報提供の機会を作るよう

求めていく。

募集しているが、3月末までの募集のため応募が無く困っている」「会計年度任用職員の人員要求はいつになるのか?これ以上減らされると困る」との要望も出された。

県職労は、出された声を求めていく。

当局に伝え、働きやすい環境の制度と早期の職場への情報提供の機会を作るよう

求めていく。

## Q&A

1 3月まで働き、4月以降も採用になったら年次休暇は繰り越されますか?

【回答】 一定の要件を満たす場合は、20日を限度として繰り越すことができます。

2 1年更新との事ですが、最長でどのくらい勤務できますか?

【回答】 岩手県と交渉中です。総務省のマニュアルでは、選考採用は3年とし、その後は一般公募の試験を導入することとされていますので、更新上限は今のところ示されていません。

3 フルタイム勤務とパートタイム勤務は選べますか?

【回答】 岩手県と交渉中です。

4 正規職員の業務が会計年度任用職員に移行することはありますか?

【回答】 正規職員と会計年度任用職員の業務は区別されており、岩手県から正規職員の業務を移行させる考えは示されていません。